

交通バリアフリーニュース

バリアフリー新法に基づくバリアフリー化の進捗状況

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー新法」という）」第53条に基づく公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告（平成21年度末における公共交通機関のバリアフリー化の状況）、また、四国運輸局が策定した「四国における交通バリアフリー推進基本方針」におけるバリアフリー化の達成状況等の概要は以下のとおりです。

※旧交通バリアフリー法（高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律）の施行以降、約9年が経過しようとしており、その間、公共交通事業者等による旅客施設や車両等のバリアフリー化が着実に進められてきたところです。

1. 概要

- 旅客施設では、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人未満の施設において、「段差の解消」（14駅）「視覚障害者誘導用ブロックの整備」（9駅）「身体障害者用便所の設置」（2駅）などのバリアフリー化が進みました。（P3）
- 車両等では、乗合バスのバリアフリー化（低床化）は低調ながら増加しました。（20.9% → 24.1%）
鉄軌道車両については、適合車両の導入が5両と車両の改造が10両あり、若干のバリアフリー化が進んだものの、全体的な適合車両比率は低迷しています。（8.4% → 10.6%）
福祉タクシーについては、事業者の努力により導入が進んでいます。（519台 → 620台）（P2、3）
- 1日の平均的な利用者数が5,000人未満の旅客施設とその周辺を重点整備地区として想定し、一体的なバリアフリー化を図るため、愛媛県四国中央市に対し、基本構想作成に必要な情報を提供しました。（P4）
- 心のバリアフリーの普及啓蒙を図るため、徳島県藍住町（町立藍住西小学校）、香川県小豆島町（町立星城小学校）、香川県高松市（市立塩江小学校、市立上西小学校）、香川県さぬき市（市立津田小学校）、香川県坂出市（市立川津小学校）、愛媛県今治市（市立波方小学校）、高知県高知市（市立潮江東小学校）において小学生を対象に、また、高知県安芸市（土佐くろしお鉄道安芸駅）において交通事業者従業員を対象にバリアフリー教室を開催しました。（P4、5）
- 高齢者団体、障害者団体、自治体、施設設置管理者及び運輸局等からなる「バリアフリー推進四国地域連絡会議」を平成22年3月に開催しバリアフリー化に関する取組みの報告や知見の共有を図るとともに意見交換を行いました。（P4）



2. 整備目標のフォローアップ(平成21年度)

① 主な旅客施設のバリアフリー化率(1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の施設)

○対象12施設

	平成20年度		平成21年度		平成22年 目標※2
	四国	全国	四国	全国	
段差の解消	100.0%	71.6%	100.0%	77.2%	100%
視覚障害者誘導用ブロックの整備	91.7%	92.9%	91.7%	94.7%	100%
障害者対応型トイレの設置 ※1	90.0%	66.5%	90.0%	75.1%	100%
視覚障害者転落防止設備の整備	91.7%	64.0%	91.7%	98.5%	100%

② 車両等のバリアフリー化率

○車両等

	平成20年度		平成21年度		平成22年	
	四国	全国	四国	全国	目標※2	見込み※3
鉄軌道車両	8.4%	41.3%	10.6%	45.7%	50%	20%
乗合バス(低床バス)	20.9%	41.7%	24.1%	45.8%	—※4	—
(うちノンステップバス)	15.8%	23.0%	18.3%	25.8%	30%	20%
福祉タクシー	519台		620台		18,000台※5	700台
旅客船	20.2%	16.4%	20.4%	18.0%	50%	40%

※1 障害者対応型トイレの整備率は、トイレ設置駅(10駅)に対する割合

※2 四国における交通バリアフリー推進基本方針における目標(国の基本方針と同じ目標値)

※3 四国における交通バリアフリー推進基本方針における四国の達成見込み

※4 低床バスの目標は、平成27年に100パーセントの導入

※5 福祉タクシーは、全国で18,000台の導入目標

3. 推進方策のフォローアップ

* 交通事業者、自治体、国等の連携等により、旅客施設や車両等のバリアフリー化が進んだ。

推進方策	実施内容
(1) 総合的な整備の推進	<平成21年度中にバリアフリー化が進んだ主な鉄軌道駅> ☆段差の解消 ・ 四国旅客鉄道(株) 4 駅 (鬼無駅、山河内駅、辺川駅、金蔵寺駅) ・ 伊予鉄道(株) 1 駅 (福音寺駅) ・ 土佐くろしお鉄道(株) 1 駅 (中村駅) ・ 高松琴平電気鉄道(株) 7 駅 (栗林公園駅、一宮駅、岡本駅、花園駅、林道駅、湊元駅、八栗駅) ・ 土佐電気鉄道(株) 1 駅 (大橋通停留場) 計 14 駅 (累計 112 駅) ☆視覚障害者誘導用ブロックの整備 ・ 土佐くろしお鉄道(株) 1 駅 (中村駅) ・ 高松琴平電気鉄道(株) 7 駅 (一宮駅、栗熊駅、花園駅、林道駅、今橋駅、湊元駅、八栗駅) ・ 土佐電気鉄道(株) 1 駅 (大橋通停留場) 計 9 駅 (累計 187 駅) ☆障害者対応型トイレの設置 ・ 伊予鉄道(株) 1 駅 (三津駅) ・ 高松琴平電気鉄道(株) 1 駅 (三条駅) 計 2 駅 (累計 19 駅) ☆視覚障害者転落防止設備の整備 ・ 高松琴平電気鉄道(株) 5 駅 (栗林公園駅、一宮駅、林道駅、湊元駅、八栗駅) ・ 土佐電気鉄道(株) 1 駅 (大橋通停留場) 計 6 駅 (累計 220 駅) <平成21年度中に導入されたバリアフリー車両等> ☆鉄軌道 ・ 鉄道車両 5 両 (累計 63 両) ・ 軌道車両 10 両 (累計 11 両) ☆乗合バス ・ ノンステップバス 38 両 (廃止 3 両) (累計 274 両) ・ ワンステップバス 8 両 (累計 78 両) ☆福祉タクシー車両 101 両 (累計 620 両) ☆旅客船 ・ バリアフリー基準適合船 (廃止 1 隻) (累計 22 隻)

(2)運輸局における推進施策	
①バリアフリー推進体制の整備	* 鉄軌道バリアフリー推進会議及びバリアフリー推進四国地域連絡会議を開催しました。 ☆第5回鉄軌道バリアフリー推進会議 平成22年2月24日 ☆第3回バリアフリー推進四国地域連絡会議 平成22年3月3日
②ソフト面のバリアフリー推進施策	* 小学生や交通事業者従業員を対象にしたバリアフリー教室及び出前講座を開催しました。 <バリアフリー教室開催実績> ○平成21年6月12日(開催場所:ことでんバス(株)本社車庫) 対 象:小豆島町立星城小学校2年生40名 ○平成21年7月3日(開催場所:ことでんバス(株)塩江車庫) 対 象:高松市立塩江小学校5年生、上西小学校 全児童 計29名 ○平成21年10月2日(開催場所:さぬき市立津田小学校) 対 象:さぬき市立津田小学校5年生39名 ○平成21年10月20日(開催場所:土佐くろしお鉄道安芸駅) 対 象:土佐くろしお鉄道(株)従業員24名 ○平成21年10月28日(開催場所:今治市立波方小学校) 対 象:今治市立波方小学校4年生69名 ○平成21年11月5日(開催場所:土佐電気鉄道(株)) 対 象:高知市立潮江東小学校3年生88名 保護者56名 ○平成21年11月13日(開催場所:藍住町立藍住西小学校) 対 象:藍住町立藍住西小学校4年生94名 ○平成21年12月4日(開催場所:坂出市立川津小学校) 対 象:坂出市立川津小学校4年生45名
③段階的・継続的なバリアフリーの推進	* 平成22年3月3日に第3回バリアフリー推進四国地域連絡会議を開催し、スパイラルアップのための体制づくりを行いました。
④バリアフリー基本構想の作成支援	* 基本構想作成予定調査を基に、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人未満の旅客施設、官公庁施設、福祉施設などの生活関連施設を含む重点整備地区を想定し、基本構想作成を促進するためのプロモーターを派遣しました。 <平成21年度プロモーター派遣実績> ○平成22年3月17日 愛媛県四国中央市

(2)運輸局における推進施策	
⑤バリアフリー化財源の確保	* バリアフリー関係補助事業等を活用し、旅客施設及び車両等のバリアフリー化が進みました。 <平成21年度バリアフリー関係補助事業等による実績> ○鉄軌道 (補助額) ・交通施設バリアフリー化設備整備費補助 - 鉄道駅 1駅 17,107,448円 ○乗合バス ・公共交通移動円滑化設備整備費補助 - ノンステップバス2両 3,712,000円 ・生活交通路線維持費補助車両購入費補助 - ノンステップバス24両 - ワンステップバス 3両 199,254,000円 ・低公害車普及促進対策費補助 - ノンステップバス 2両 2,946,000円 ・地域公共交通活性化・再生総合事業 - ノンステップバス 2両 (一括交付のため金額不明)
(3)交通事業者におけるバリアフリー推進施策	
①旅客施設及び車両等の整備計画	* 交通事業者や運輸局関係部との情報交換等により、交通事業者のバリアフリー推進計画の把握に努めました。
②ソフト面の対応	* 平成21年10月20日土佐くろしお鉄道安芸駅において、土佐くろしお鉄道株式会社従業員に対するバリアフリー教室を開催しました。

バリアフリー教室、バスの乗り方教室を各地で開催 ～香川県高松市、徳島県三好市～

高松空港

平成22年10月18日(月)、四国運輸局は、高松空港(香川県高松市)において「バリアフリー教室」を開催しました。



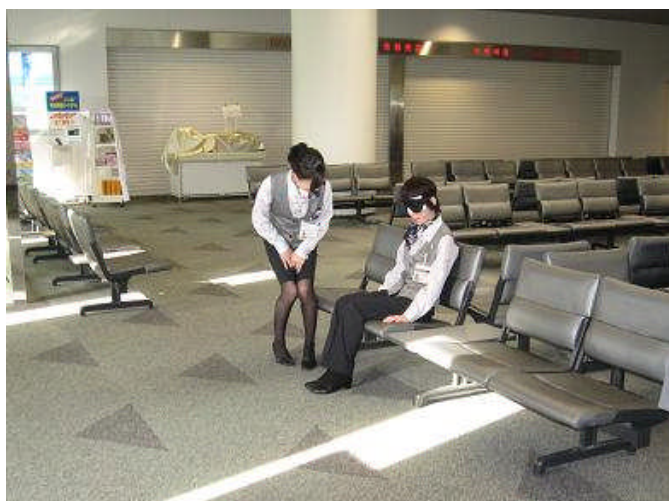
当事者の方から講話



高齢者疑似介助体験

教室には、高松空港ユニバーサルデザイン推進専門部会構成員や航空会社の従業員ら31名が参加。(社)全国脊髄損傷者連合会香川県支部の講師から空港施設を利用する際の当事者の意見や感想についての講話や、(社)高松市社会福祉協議会・(財)かがわ健康福祉機構の講師の指導のもと、空港施設内でアイマスクを着用しての視覚障害者疑似介助体験やシニアポーズを着用しての高齢者疑似介助体験を実施しました。

参加者は、障害者や高齢者の立場を実際に体験したことによって、接遇・介助の必要性をあらためて認識していました。また接遇・介助方法を再確認し、さらなる「心のバリアフリー」の推進と安全で快適な公共交通機関の提供に向け、誓いを新たにしました。



視覚障害者疑似介助体験



意見交換会

三好市立三縄小学校

平成22年11月26日(金)、四国運輸局と徳島運輸支局は、三好市立三縄小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には三縄小学校全児童49名とその父兄31名が参加。バスの乗り方教室では四国交通㈱の協力を得て校内にバスを持ち込み、料金表の見方や整理券の取り方などの基本的なバスの乗り方について勉強しました。また、バリアフリーに対応した低床バスの特徴を学習したり、低床バスに乗降する車いす利用者の介助の仕方を間近で見学しました。

バリアフリー教室では、三好市社会福祉協議会の講師の指導のもと車いす体験と視覚障害者疑似体験を行いました。車いす体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障害者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して実際にバスに乗降するなどの介助体験を行いました。

参加者は講師の話を聞いたり、実際に介助体験をすることによって相手の立場にたって行動することの大切さを学びました。



開講式の様子



講師がバスの乗り方について説明



低床バスの床の高さを説明



バスの乗降を体験

三好市立三縄小学校



車いすでバスに乗降



手引きの仕方を学習



講師より白杖について説明



アイマスクをしてバスに乗降



車いすの介助体験



段差を慎重に通過

四国運輸局が開催しているバリアフリー教室・バスの乗り方教室は、自治体、社会福祉協議会、障害者の方、公共交通事業者等から後援・協力をいただき開催しております。

10、11月に開催した教室での後援・協力は次のとおりです。

平成22年10月18日開催バリアフリー教室（高松空港）

協力：(社)全国脊髄損傷者連合会香川県支部、(社)高松市社会福祉協議会
(財)かがわ健康福祉機構

平成22年11月26日開催バリアフリー教室・バスの乗り方教室（三好市立三縄小学校）

後援：徳島県、三好市、三好市教育委員会
協力：(社)三好市社会福祉協議会、四国交通(株)

ご協力ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せ下さい。



〒760-0064

高松市朝日新町1-30

電話 087(825)1174

FAX 087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心に、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。

このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。

四国運輸局ホームページもご覧ください

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>